授業科目名・形態	地域・在宅看護実習Ⅰ　　実習	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	石川　セツ子　　他	実務経験の有無	有	開講期	３年前期・後期
科目ナンバリング	N6-3004npmht				

【授業の主題】

専門基礎科目の知識を基盤とし、専門科目としての看護の知識・技術・態度の統合を図りつつ、実践へ適応する能力を身につけ、多様な場において多様な人を対象に、必要な対人関係形成能力を養う。

【到達目標】

1） 保健・医療・福祉の連携における、在宅看護の位置づけと役割ができる。
2） 健康問題解決の必要な地域の保健・医療・福祉サービスの特徴と活用方法を理解できる。
3） 在宅療養者・家族の特徴を理解できる。
4） 在宅療養者・家族の状態に適した看護を考えることができる。
5） 多職種と連携・協働する中で看護の専門性を理解できる。

【授業計画・内容】

1） 在宅看護に関連する法令、制度、地域包括ケアシステムにおける訪問看護の役割、関係機関・関係職種の機能や役割。

2） 対象のニードにより活用可能なサービスと活用方法。

3） 在宅療養者・家族の特徴、療養別にみた対象者の特徴、在宅看護の対象者としての家族の特徴。

4） 在宅療養者とその家族の健康問題・生活状態に適した援助、安全安楽を考慮した日常生活援助。

5） 終末期ケアの理解。

6） 多職種との連携・協働（在宅ケアシステム、チームケア、ケアマネジメント、担当者会議等）。

在宅看護における看護師の役割機能と看護の専門性。（看護師の責務、看護論理等）

※詳細は実習オリエンテーションにて提示する。

【授業実施方法】

1）臨地実習　2）事前学習（課題学習のまとめ）3）実習直前オリエンテーション（学習内容と実習目標の確認等）
4）訪問看護ステーションでの反省会(実習２週間の振り返りと反省)
5）学内カンファレンス（看護の振り返り、在宅看護援助計画書の作成・発表、意見交換）

【事前・事後学習】

・訪問看護及び在宅ケア実習に関連するサービス、関係法規などの①課題学習と②初日分の実習目標を記載した記録を、実習開始前の指定日時までに教員へ提出し内容を確認すること。
・日々の実習を振り返り課題学習を整理するとともに、次の実習目標を設定すること。

【主な関連する科目】

地域・在宅看護論Ⅰ・Ⅱ

【教科書等】

2025 年度版　地域・在宅看護論①②　「地域療養を支えるケア」「地域療養を支える技術」
編者：臺　有桂　石田千絵　山下留理子　　発行所：メディカ出版

【参考文献】

1）令和７年版訪問看護業務の手引き　2）地域・在宅看護実習ハンドブック等、その他必要に応じ紹介する。

【成績評価方法】

1） 実習中における実習指導者や教員による評価（実習中の姿勢や態度・行動等）や、日々の記録のコメント、反省会・カンファレンス等での発言・発表　（50%。）
2）地域・在宅看護実習（Ⅰ）評価表（50%。）

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

1） 訪問看護の運営業務や、在宅ケアマネジメントの実務経験を活かし実習中の指導に当たる。
2） 実習での理解不足や疑問等について振り返り学習をとおして、活発な意見交換により理解が得らえるようなカンファレンスを定期的に実施する。

【学生へのメッセージ】

1） 在宅・施設サービスの実習となりますので、特に同行訪問による実習時には、個々の基本的なマナーをしっかり守りましょう。（事前オリエンテーション時に配布した資料を参考）
2） 地域・在宅看護実習の自己学習課題について、しっかり事前の学習をしてから各施設で実習しましょう。
2） 実習での学びをとおして、疑問や分からないこと等は、積極的に指導者や教員へ質問し理解を深めましょう。
3） 限られた実習期間ですので、主体性を持ち、やりがいと達成感のある実習を体験しましょう。